

# 校長室だより No 7

## スポーツフェスタの見どころ

2022年 5月26日 柏市立十小学校 校長 梅津 健志

スポーツフェスタがはじまりました。運動会が2年間に渡り中止の後、昨年は無観客オンライン中継で、名称をスポーツフェスタとして実施しました。今年は、従来の運動会に近い形に戻つつありますが、スポーツフェスタという名称で実施します。昨年と異なるところは、全校児童が校庭に出た状況で、個人種目、団体種目、そして事後アンケートで希望が多かった表現種目の3種目に取組みます。学校によっては低・中・高と時間を区切って実施するところもあります。スポフェスタは競技を保護者に見てもらおうということもありますが、子供たちがお互いの姿を見合うことが大きな成長につながる見えないカリキュラムがあります。6年生の姿は、低中学年の子供からすると偉大な存在です。「あのようにやりたい」と思う姿、目標になるのです。高学年も、自分たちの姿が目標になると、自然と背筋が伸びるものです。土小に通う子供たちが一堂に会する機会は、スポーツフェスタが最大の機会となり、校内で行う行事はまだ体育館では行えずオンラインの状況においては、唯一ともいえます。

運動会（スポフェス）も春と秋とは、見えないカリキュラムで身に付ける見えにくい学力が異なってきます。春の運動会は学年のチームをつくる時期になり、秋の運動会はチームをつくり上げる時期になり種目設定や内容は自然と異なってきます。本校は春ですので、スポフェスに取組む5月のキーワードは「合わせる」としました。時間・動き・気持ちを意識して合わせることを、5月の全校朝会で話し、全校で意識して取り組んでいます。当日も合わせるという姿の実現の様子にも着目してごらんください。ご自身のお子様だけを追いかけると合わせるが見えて来にくいものです。全体の様子をじっくりごらんいただきたいと思います

練習の様子を見ると、中高学年の表現運動の練習で、自分たちで動きを創り出そうとする活動が多く行われています。家でも練習をしているということ話してくれる子も多く、一人一人の子供なりに動きを創り出そうとしています。さらに高学年は、練習の様子をクラスルームにのせて、家に帰ってから自分の様子を振り返ることができるようにしています。練習の時に見えている姿と客観的に映した動画を見比べて、次の課題を見つけることができることが、今回の表現運動を通して身に付けさせたい力＝学力だと思います。なかなか思ったような姿になっていないかもしれませんが、そこであきらめず、投げ出さず、自分はどうすればよいか、友だちどう合わせればよいか、等を考えて、次の日の練習に臨むことが、これから大人になっても役立つ力となるはずです。明日は雨の予報です。今日の練習が最後でした。これから当日の青空のもとで子供たちが見せてくれる姿がどこまで伸びるか、伸ばす力は、一人一人の子供たちが持つ「合わせる」力です。土曜日の姿を楽しみに……

スポフェス当日は、保護者1名ずつの入場制限をさせていただき心苦しく思っておりますが、保護者エリアが狭くなっている関係上、ご理解とご協力をお願いします。またPTAの係の皆さんが、受付や誘導のボランティアを快く引き受けてくださり、スポフェスの運営を支えてくださいます。見えにくいこともあるかと思いますが、譲り合いの大人対応でよろしくをお願いします。

今回は児童席の上に透過率75%の農業用のメッシュシートを活用した日よけを設置しました。日よけの設置には、学校のテントの脚を利用しています。しかし、幅が狭いため、全員が日陰部分に入りこく、また太陽の動きによって日陰部分が移動し、十分な日よけ効果を発揮できないことが予測されます。

次年度以降については、建設用の足場機材等を利用した枠組みを設置できないか検討したいと考えております。予算や設置用のボランティア人員の確保に限りがある中ですが、土地域の方々のお力をお借りしながら児童用の日よけを確保できる方法を探りたいと考えております。ご協力いただける事業所さん等の情報をお持ちの方は、学校（教頭）までご連絡いただくと幸いです。来年度のことも今年から備えていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

28日終了後は、日よけテントの片づけを行います。ボランティアでのご協力をよろしくをお願いします。